

令和元年度 津山教育事務所指定 (県総合教育センター「中学校理科研修講座」及び「授業における生徒指導の進め方を学ぶ研修講座」と合同開催)

# 管内授業研究会 (中学校理科)

授業者：廣瀬隆輔 指導教諭 (美作市立美作中学校)  
単元名：動物のなかまと進化 (第2学年)

## 授業研究会テーマ：生徒指導の留意点を生かした理科の授業づくり

### 【授業のねらい】

植物の分類を思い出しながら、動物を分類してみる活動を通して、**より妥当な分類の観点について考える。**



### 【生徒指導の留意点】

- ・自己存在感を与える。
- ・共感的な人間関係を育成する。
- ・自己決定の場を与える。

### ねらいに迫るための工夫

○複数の動物の写真を見て、自らの知識や体験を基にしなが、自分なりに分類の観点を**予想する**ようにする。

○小学校で学習した「ほ乳類」「両生類」などの内容や、中学校1年生で学習した「植物の分類」と**関連付け**て観点を設定するようにする。

○他者の意見と**比較**し、共通点や相違点に注目しながら、より妥当な分類の観点を考えるようにする。

2年 組 第 期 日 月 日

氏名

授業内容

さまざまな種類の動物の写真 (サル、カメ、カニ、ウニ、ミミズなど)

1 自分だけでなく、上の動物を比べ、分類の観点を考えてみよう！  
すべての動物を入れる必要はない。また、同じ動物を何度も選んでいいよ。

2 横で話し合っ、自分の考えた動物を分類しよう！  
全ての動物を入れること、選んだ動物は1人1人決めた順番で貼り付けよう。  
(ホワイトボードに貼入)

3 他者の意見を見て、納得(共感)して決定観点を書こう！

4 学習内容をまとめよう！

5 授業振り返ろう！(良かったこと、気づいたこと、疑問に思ったこと、これから学習したいこと、感想など)

観	観	観
観	観	観
観	観	観

### 教師の支援や配慮の実際

○全員が取り組める学習活動を設定するようにする。 (自己存在感)

○各自の考えを班員に話し、ともに学び合うようにする。 (共感的人間関係)

○一人で考える時間を確保し、自分の考えをもてるようにする。 (自己決定)

○生徒の発言に対して、共感的に受け入れるようにする。 (自己存在感・共感的人間関係)

生徒指導の留意点を生かすことで、次の3つの生徒の姿が見られました。

①話し合いに**全員が参加**していた。自己存在感を実感している。②全員が他者の発言を**興味をもって**聞けていた。**間違い**うこと**をおそれず安心して**意見を言っていた。共感的な人間関係が育まれている。③**時間がかかっても自分の考えをも**とうとした生徒がいた。自己決定の場において、自分の可能性を高めようとしている。



### 【参加者の感想より】

○教科指導と生徒指導が密接に結びついていることを改めて感じた。「思考や意欲がつながる言葉がけ」を大切に生徒の意見を大事にして授業をしていきたい。

○生徒が学校の中で一番長く過ごす授業の時間だからこそ、居場所と活躍の場がなくてはならないと思った。

